【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年1月9日(2025.1.9)

【国際公開番号】WO2023/204312
【出願番号】特願2024-516338(P2024-516338)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/346(2021.01)
Ａ６１Ｂ　5/339(2021.01)
Ａ６１Ｂ　5/358(2021.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/346
Ａ６１Ｂ　5/339
Ａ６１Ｂ　5/358

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月21日(2024.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検者から継続的に取得される心電図に対して自動的に実施された複数回の解析処理の結果に基づいて、急性冠症候群（ＡＣＳ）の可能性を診断するためのレポートを生成し、前記レポートを出力する制御手段を有する心電計であって、
前記レポートは、
前記複数回の解析処理のそれぞれについて、前記解析処理が適用された所定時間分の前記心電図における波形を前記心電図の誘導ごとに提示する第１領域と、
ＳＴレベルを誘導ごとに提示する第２領域とを有し、
前記第２領域にＳＴレベルを提示する誘導は、前記被検者から取得された心電図の誘導と、前記被検者から取得された心電図に基づく合成処理によって生成された合成誘導とを含み、
前記制御手段は、前記レポートがプリンタから出力される１ページに収まるように前記レポートを生成する、
ことを特徴とする心電計。
【請求項２】
前記レポートが、さらに、前記複数回の解析処理において検出された異常心電図の所見の一覧を提示する領域を有することを特徴とする請求項１に記載の心電計。
【請求項３】
前記制御手段は、所定の期間の直前に実施された解析処理または前記所定の期間の最初に実施された解析処理と、前記所定の期間の最後に実施された解析処理とを前記複数回の解析処理に含めることを特徴とする請求項１に記載の心電計。
【請求項４】
前記制御手段は、所定の期間に実施された解析処理のうち、最大のＳＴレベルが検出された解析処理および異常心電図の所見が検出された解析処理の少なくとも一方を、前記複数回の解析処理に含めることを特徴とする請求項１に記載の心電計。
【請求項５】
前記所定の期間が、被検者にＡＣＳの疑いがあると判定された以降の期間であることを

特徴とする請求項３または４に記載の心電計。
【請求項６】
前記被検者にＡＣＳの疑いがあるとの判定が、解析処理の結果もしくは前記被検者のＡＣＳスコアに基づくことを特徴とする請求項５に記載の心電計。
【請求項７】
前記第１領域に提示する波形は１拍分の代表波形であることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の心電計。
【請求項８】
前記合成誘導は、右側胸部誘導および背側部誘導を含むことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の心電計。
【請求項９】
前記合成誘導は、Ｖ４Ｒ誘導およびＶ７～Ｖ９誘導を含むことを特徴とする請求項８に記載の心電計。
【請求項１０】
前記第２領域は、誘導ごとの軸を有するレーダーチャートを用いて誘導ごとのＳＴレベルを提示することを特徴とする請求項１に記載の心電計。
【請求項１１】
前記第２領域は、四肢誘導についてのＳＴレベルを提示するレーダーチャートと、前記合成誘導を含む胸部誘導についてのＳＴレベルを提示するレーダーチャートを有することを特徴とする請求項１０に記載の心電計。
【請求項１２】
前記第２領域は、各誘導について、所定の期間の直前に実施された解析処理または前記所定の期間の最初に実施された解析処理で検出されたＳＴレベルと、前記所定の期間に実施された解析処理で検出された最大のＳＴレベルとを比較可能に提示することを特徴とする請求項１０に記載の心電計。
【請求項１３】
前記第２領域は、棒グラフを用いて誘導ごとのＳＴレベルを提示することを特徴とする請求項１に記載の心電計。
【請求項１４】
前記第２領域は、四肢誘導についてのＳＴレベルを提示する棒グラフと、前記合成誘導を含む胸部誘導についてのＳＴレベルを提示する棒グラフとを有することを特徴とする請求項１３に記載の心電計。
【請求項１５】
前記第２領域は、各誘導について、所定の期間の直前に実施された解析処理または前記所定の期間の最初に実施された解析処理で検出されたＳＴレベルと、前記所定の期間に実施された解析処理で検出された最大のＳＴレベルとを比較可能に提示することを特徴とする請求項１３に記載の心電計。
【請求項１６】
前記ＳＴレベルが、振幅またはタイミングに基づくＳＴレベルの代表値であることを特徴とする請求項１０から１５のいずれか１項に記載の心電計。
【請求項１７】
前記振幅に基づくＳＴレベルの代表値が、最大ＳＴレベルであることを特徴とする請求項１６に記載の心電計。
【請求項１８】
前記タイミングに基づくＳＴレベルの代表値が、ＳＴ区間の開始から所定時間経過したタイミングのＳＴレベルであることを特徴とする請求項１６に記載の心電計。
【請求項１９】
前記所定の期間が、被検者にＡＣＳの疑いがあると判定された以降の期間であることを特徴とする請求項１２または１５に記載の心電計。
【請求項２０】

前記被検者にＡＣＳの疑いがあるとの判定が、解析処理の結果もしくは前記被検者のＡＣＳスコアに基づくことを特徴とする請求項１９に記載の心電計。
【請求項２１】
被検者から継続的に取得される心電図に対して自動的に実施された複数回の解析処理の結果に基づいて、急性冠症候群（ＡＣＳ）の可能性を診断するためのレポートを生成することと、
前記レポートを出力することと、を有する心電計の制御方法であって、
前記レポートは、
前記複数回の解析処理のそれぞれについて、前記解析処理が適用された所定時間分の前記心電図における波形を前記心電図の誘導ごとに提示する第１領域と、
ＳＴレベルを誘導ごとに提示する第２領域とを有し、
前記第２領域にＳＴレベルを提示する誘導は、前記被検者から取得された心電図の誘導と、前記被検者から取得された心電図に基づく合成処理によって生成された合成誘導とを含む、
ことを特徴とする心電計の制御方法。
【請求項２２】
心電計が有するコンピュータを、請求項１に記載の心電計が有する各手段として機能させるためのプログラム。